

OECU NEWS



Osaka
Electro-Communication
University

大阪電気通信大学学報

336号

2019年5月10日発行
発行：学校法人 大阪電気通信大学
〒572-8530 寝屋川市初町18-8
TEL 072-824-1131(代)
<https://www.osakac.ac.jp/>



寝屋川キャンパス新棟内観イメージバース

2018年度学位授与式
2019年度入学式

2018年度「なわてん」開催！

OECU Club & Circle

剣道部／放送研究会

- NEWS & TOPICS
- 受賞報告
- 人事異動
- 寝屋川キャンパス大規模リニューアル工事進捗レポート
- イベント予告

それぞれの道へ 気持ち新たに旅立ち



2018年度の学位授与式が3月23日、四條畷キャンパスのコナミホールで行われました。

式は、①工学部・医療福祉工学部、②情報通信工学部・総合情報学部・金融経済学部、③大学院の3回に分けて行われ、1,126人（学士：1,082人、修士：43人、博士：1人）にそれぞれの学位記が授与されました。

学位記授与、大石利光理事長・学長による告辞のあと、38人に学業優秀賞が授与されました。

また、大学院博士後期課程を修了した1人(医療福祉工学研究科)には、博士の学位が授与されました。

なお、大阪電気通信大学高等学校の卒

また、大阪電気通信大学高等学校の卒業式は2月19日に高等学校体育館で行われ、普通科、電子工業科合わせて266人が卒業しました。





2019年度入学式

新入生、決意新たに

2019年度の大学・大学院の入学式が4月2日、四條畷キャンパスのコナミホールで行なわれました。

式は、①情報通信工学部・医療福祉工学部、②工学部、③総合情報学部、④大学院の4回に分けて行なわれ、学部(編入学含む)、大学院を合わせて1,476人が新たな大学生活をスタートさせました。また、大阪電気通信大学高等学校の入学式は4月6日、体育館で行なわれ、366人が入学しました。



将来の目標を掲げ、人間力を磨き技術力を身につける4年間を

学校法人大阪電気通信大学 理事長
大阪電気通信大学 学長

大石 利光

晴れの入学式にあたり大阪電気通信大学を代表して、新入生の皆さん、並びにご家族、関係者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

すでにご承知の通り、昨日新元号「令和」が発表され、このおめでたい年に入学される皆さんに本日この会場でお会いできるのを楽しみにしておりました。大阪電気通信大学は全学をあげて皆さんを歓迎いたします。

本学は開学以来、実学教育を基本に人間力と技術力で自ら人生を切り拓き、社会で主体的に活躍できる人材の育成に取り組んできました。そして今日までに

58年の歴史を刻み、5万2千人を超える卒業生を社会に送り出し、多くの皆様が社会で活躍しておられます。その先輩に続いて、皆さんは今日から大阪電気通信大学の一員として、それぞれのキャンパスで大学生活を送っていくことになります。今はまだ新たな学びへの喜びと不安に胸をふくらませていると思いますが、大学での学びはこれまでに身につけた力をベースに、より広くより専門的により深くそれぞれの学部学科で学んでいくことになります。そして、全員が4年後に笑顔で卒業式を迎えてほしいと思います。

さて、ある大学生のお話です。彼は自分の学歴を活かして塾の講師のアルバイトを始めます。しかし、学生生活は意外とお金がかかるところから、さらに収入を得るために引っ越しのアルバイトをすることにしました。ある日、親方に仕事の内容がわからぬので質問をすると、「坊主、おまえは勉強嫌いで中学しか出でていないのか」と言われその後、ことあるごとに「勉強しろよ」と言われ続けたそうです。その子は東大生でした。彼は学校の勉強だけでは社会に出ても通用しないのだなと思い、そこでアルバイトを続けながら勉強し、在学中に司法試験に合格しましたが、そこで見聞きしたことが将来仕事をするときに随分役に立ったと話してくれました。

この言葉を皆さんにお送りして、本日入学された皆さんお一人おひとりが目標を持って勉学に励み、未来に向けてしっかりと進んでいかれることを期待して、私の告辞いたします。(情報通信工学部、医療福祉工学部の入学式より)

逆に、別の学生は飲食店でアルバイトを始めて店長の代理が勤まるまでになりました。しかし、アルバイト仲間が試験の時に休む穴を埋めるために働き、単位が取れずに結局卒業できず、その店に勤め

ざるを得なくなったという例もあります。

皆さんにとって身近なアルバイトの例を話しましたが、忘れてならないのは学生にとっての本業は勉強です。授業、クラブ活動、ボランティア、アルバイト等々忙しい日々にあって学生生活をどう充実したものにできるかは、皆さんの日々の過ごし方にかかっています。皆さんのが4年後に向かう社会は今後AI・IoTに代表される情報技術の進化によって全ての産業が再定義されるとと言われています。ですから誰もがいま持っている知識だけでは仕事に困る時代になります。

「変化の時代には学ぶ者が地上を制し、学ぶことをやめた者は自分の力を發揮できる世界がもはや存在しないことに気づく」。これはアメリカの社会学者エリック・ホッファーの言葉です。変化の時代には学ぶこと、勉強することが大切なのです。また、それと同時に皆さんには自分の将来を真剣に考え、大きな目標を持って、将来必ず社会で活躍するぞという決意をしていただきたいと思います。

スタンフォード大学の有名なケリー・マクゴニガル教授は、「将来の自分について考えていることは、将来の自分を大切に思い、いま行っていることが将来の自分に跳ね返ってくるのだと考えることが重要だ」と言っています。人間がただ一つ自由自在にコントロールできるのは未来です。未来を助けられるのは自分自身しかありません。皆さんの輝かしい未来に向けて、本学には皆さんを指導しサポートする優秀な教授陣と教育環境が整っております。ですから皆さんには本学で人間力を磨き技術力を身につける努力をしてください。

人は、努力して結果が出ると自信になります。努力せず結果が出ると驕りになります。努力もせず結果が出ないと後悔が残ります。努力して結果が出ないとしても経験が残ります。

この言葉を皆さんにお送りして、本日入学された皆さんお一人おひとりが目標を持って勉学に励み、未来に向けてしっかりと進んでいかれることを期待して、私の告辞いたします。(情報通信工学部、医療福祉工学部の入学式より)



2018年度
Graduation Exhibition
Osaka Electro-Communication University
Faculty of Information Science and Arts
Department of Digital Games
Department of Computer Science
Department of Digital Art and Animation

2月9日(土)、10日(日)、2018年度総合情報学部卒業研究・卒業制作展「なわてん」を四條畷キャンパスで開催しました。



受賞一覧

グランプリ

- 「文学かるた」
山本愛海(デジタルゲーム学科)

準グランプリ(2作品受賞)

- 「身近なインターネットの現状」
高橋勇太(デジタルゲーム学科)
- 「伊勢型紙を楽しむデザイン～二十四節氣～」
青木佑司(デジタルゲーム学科)

観客賞

- 「Calm Place(カーム プレイス)」
高屋嶺、谷岡龍輝、竹内良太(デジタルゲーム学科)

友電子賞(3作品受賞)

- 「VR空間における布の質感提示に関する研究」
佃吉央(情報学科)
- 「漫才のテンポについて」
堀川友恵(デジタルゲーム学科)
- 「一筆書きレゴー」
和泉勇斗(デジタルゲーム学科)

後援会賞

- 「伊勢型紙を楽しむデザイン～二十四節氣～」
青木佑司(デジタルゲーム学科)

アコラ賞

- 「心拍数の変化で楽曲の展開が変わるシステム」
小川宏平(デジタルゲーム学科)

学術研究賞

- 「臓器変形モデリングのための術前術後の特徴点とそのマッピング抽出について」
内堀翔太(情報学科)

芸術賞

- 「DREAM COLLECT! (ドリーム コレクト!)」
北垣作恵(デジタルゲーム学科)

Number
20

「れに始まり札に終わる」と言われるほど、礼儀を大切にする「剣道」。

本学の剣道部は、部員11人で水・金曜日の18:00~20:00に厚生棟3階剣道場で練習をしています。主将の小松智彰さん(工学部機械工学科3年生)を中心に、かかり稽古や面打ち、小手打ち、胴打ちなどの基本練習に力を入れ「大阪学生剣道選手権大会」や「大阪学生剣道優勝大会」を目標に努力を重ねています。

練習の前に、剣道着と袴を身につけ一人ひとりが正座をし、手ぬぐいを手際よく頭に巻き面を被る姿から、心や態度を正す厳粛な一瞬を垣間見ることができました。

OECU Club & Circle 大阪電気通信大学のクラブ・サークル活動に迫る！

笑顔が絶えないアットホームな放送研究会は、部長の西村凌さん(情報通信工学部通信工学科2年生)や山下泰弘さん(同学科2年生)は、一から脚本を考え、BGMや台本の作成に尽力し作品を完成させるなど、一人ひとりが活躍しています。西村部長は「放送研究会は、みなで1つの作品を完成していくため、仲間と何度も話し合いをするので、コミュニケーションの向上につながるサークルです。また、音響機材も揃っているので、技術部としても技を磨くことができます。今後もより良い作品を皆さんに届けられるよう精進していきます」と話してくれました。

放送研究会は、ラジオドラマや朗読などを通して外部へ発信しているサークルです。アナウンス部と技術部の担当があり、年2回の番組発表会や大学祭、毎月昼休みに食堂で流している作品などを制作しています。宮内暉さん(情報通信工

Number
21

放送研究会からのメッセージ

最初の一歩を踏み出すのは勇気がいると思いますが、始めてみると世界も広がります。大学生活で何か一つでも新しいことに挑戦するには、ぜひ「放送研究会」へ。

剣道部からのメッセージ

皆が仲良くアットホームな環境で練習をおこなっていますので、興味のある方はぜひ見学に来てください！新しいことを始めたい人や経験者も歓迎です！チームが今まで以上に上位をめざすため一緒にがんばりましょう。



「GPリーグヤマハ発動機プログラミングコロシアム大阪府大会」を開催



12月22日・23日、小学生を対象としたプログラミング競技会「GPリーグ ヤマハ発動機プログラミングコロシアム 大阪府大会」



を寝屋川キャンパスで開催しました。

本大会はプログラミング未経験の子どもたちのために開発された楽しく遊び学べるプログラミングの競技会です。大阪府内から参加希望児童(小学校3年生から6年生対象)が集まり、本学学生が大会運営をサポートしました。

大会の結果、優勝は「スクラッチ」チーム、2位は「OKTS」、3位は「The・C」となり、各チームに賞状と副賞が授与されました。



寝屋川市立中央小学校へヘルマーク運動の一環で一輪車9台を寄贈

本学内の使用済インクカートリッジを回収しヘルマーク財団を通して、一輪車9台に替え、12月21日に地元の寝屋川市立中央小学校へ寄贈しました。1月29日には美化委員の児童9人と先生2人が寄贈のお礼に本学を訪問してください、パンジーを寄せ植えた鉢をいただきました。寝屋川市立中央小学校(辻直幸校長)とは、



毎年「チャレンジクラブ」を通して、学生と児童の皆さんとの交流を深めています。

役立つ書籍を出版

島袋舞子 情報教育特任講師が著し、ICT社会教育センター長代理の兼宗進教授が監修した「ドリルの王様ーたのしいプログラミング教育ガイドブック」



「プログラミング」(新興出版社啓林館)や、兼宗教授が他大学の先生方とともに編著・監修した「小学校プログラミング教育の研修ガイドブック」(株式会社翔泳社)など、本学教員が携わったプログラミング教育に役立つ書籍が出版されています。

ドリルの王様は小学校プログラミングで苦手としやすい分野を中心に扱い、「楽しめる工夫」を随所に凝らした問題集で、問題を楽しながら解くことでプログラミング的思考の育成をめざします。ガイドブックでは現場の先生方や教育関係者、自治体などの方々を対象に、小学校におけるプログラミング教育の研修内容や実践例を紹介しています。



寝屋川市立中央小学校の「チャレンジクラブ」に協力

2月5日、7日、12日、14日の4日間、寝屋川市立中央小学校の「チャレンジクラブ」が開催され、本学が協力しました。「チャレンジクラブ」は、同小学校の4年生から6年生の児童らが学修意欲の向上や技術の習得を目的に、スポーツや工作などのクラブ活動を体験するイベントです。本学は地域ボランティア活動の一環として協力し、各クラブなどに所属する学生が講師を務め、毎年さまざまな講座を実施しています。

児童の皆さんには、初日は緊張した様子でしたが徐々に打ち解け、ソフトボールやタッチフットなどで世代を超えた交流を楽しんでいました。



「2018年度リーダーズサミット」を開催

2月28日、体育会・文化会本部、学務課共催で「2018年度リーダーズサミット」を開催しました。これは体育会・文化会系の垣根を越えて各団体の主将・部長等が集い、他団体の活動を知り、組織のリーダーとして力を高めるために開催しています。

今回は32団体、計66人のリーダーと本部役員が参加。課外活動の報告や大学の広報課長および就職部次長による講演のほか、株式会社スポーツフィールドの吉浦剛史氏による講演、グループワークが行われました。表彰式では、16団体に団体表彰、13人に個人表彰を行いました。最後には親睦会が開かれ、より良い交流の機会となりました。

「寝屋川市駅前一斉清掃活動」に参加

3月3日、「寝屋川市駅前一斉清掃活動」が行われ、本学から16人の学生と教職員が参加しました。この活動は、寝屋川市社会を明るくする運動推進委員会による「まちを明るく清潔にする運動」の取組みの一つで、3月、6月、9月の

第1回曜日に、市内の4駅前で清掃活動を実施しています。

本学でも社会連携活動の一環として毎回参加しており、終了後には、京阪寝屋川市駅から寝屋川キャンパスまでの清掃も行いました。曇り空で少し肌寒い中でしたが、学生たちは地域の方々と触れ合いながら清掃活動に励みました。本学のこの取組みは、SDGs「11」と「15」

に該当します。



2018年度退職者送別会を開催

大阪電気通信大学の2018年度退職者送別会が3月8日、ホテルニューオータニ大阪で開催され、本学で活躍された教職員の労を心からねぎらいました。

【退職者】(敬称略、50音順)

浅倉史興	中村敏浩
(数理科学教育研究センター)	(数理科学教育研究センター)
井手利弘(実験サポート課)	長島政弘(実験サポート課)
江角直紀(大学事務局庶務課)	永島道芳(資産運用学科)
小笠俊博(機械工学科)	林内賀洋
上ヶ市実央(実験サポート課)	(数理科学教育研究センター)
佐々野節夫(実験サポート課)	藤原博史(実験サポート課)
淨慶一之(健康スポーツ科学科)	松尾邦子(資産運用学科)
城間達夫(入試部入試課)	山野加代枝(資産運用学科)
田中孝憲(就職部)	山本利明(資産運用学科)
遠里由佳子(情報工学科)	



教育活動優秀賞の表彰式

3月14日、教育活動優秀賞の表彰式を執り行いました。表彰は、本学における教育活動の分野において優れた功績を挙げた教育職員を顕彰する「大阪電気通信大学教育活動顕彰制度」に基づき、①教育改善、学生指導、課外活動指導、学内行政、社会活動の内容を総合的に評価し、特に優れた活動をした教員を表彰する「教育活動優秀賞」②優秀賞の表彰が通算して3回目となる教員を表彰する「教育活動特別栄誉賞」の2種類があります。

第1回目の今回は16人の教員が「教育活動優秀賞」の対象となり、寝屋川キャンパスと四條畷キャンパスで行われた表彰式では、大石利光理事長・学長より賞状が手渡されました。



ICT社会教育センター設立記念シンポジウムを開催

3月18日、ICT社会教育センター設立記念シンポジウムを開催しました。

ICT社会教育センター長代理の大石利光理事長・学長による開会の挨拶に続き、文部科学省

初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 教科調査官／参事官(高等学校担当)付 産業教育振興室 教科調査官の鹿野利春氏が講演しました。

また、ICT社会教育センター長代理の兼宗進教授による報告のほか、茨城県、大阪市、寝屋川市、四條畷市の各教育現場からのプログラミング教育実践事例の紹介の後、パネルディスカッションが行われました。

当日は約130人の方々が参加され、メモを取りながら熱心に聴講されたほか、活発な質疑応答が行われるなど有意義なシンポジウムとなりました。本学では今後も全学部・学科において教育・研究に取り組むとともに、連携協定を締結した各教育委員会の皆さまともに相互に理解を深めながら、全国の初等中等教育におけるプログラミング教育をサポートし、超スマート社会(Society5.0)の到来に備えた人材育成に取り組んでまいります。





建築学科の開設1周年記念作品展 「成長はプロジェクトと共に」を開催

本学建築学科の開設1周年企画作品展「成長はプロジェクトと共に」の学内展が2月22日から24日まで寝屋川キャンパスで、学外展が3月11日から18日まで「京町家」に



にぎりで開催されました。

作品展には立体作図や図面模写、建築物の模型など、建築学科1期生がこれまで取り組んできたプロジェクトを展示。ポプラプロジェクトに携わる学生たちは、これまでの活動記録をまとめた冊子を作成しました。この冊子はプロジェクトに関わる5つの班の活動を紹介しているほか、プロジェクトの一環として実施した「宮津スタディ

ツアーア」の様子なども掲載しています。

「第3回OECU SPIチャンピオンシップ」で全国第2位・3位

3月23日、「第3回OECU SPIチャンピオンシップ」の授与式を行いました。

今大会では、多賀愛さん(医療福祉工学部医療福祉工学科3年生)が学内順位1位のみならず、約2万人が受験する「SPI模試(Web版)」においても全国第2位という優秀な成績を収めたほか、津村岳良さん(情報通信工学部通信工学科3年生)が学内順位2位、全国第3位という好成績でした。

大石利光理事長・学長は「自信を持って次の



ステップに進み、新たなチャレンジに取り組んでほしい」と述べ、本学の同窓会組織である友電会の福田武会長、保護者組織である後援会の

西口敬子副会長と吉林裕茂副会長からもエールが送られました。

UBCカナダ英語教育研修報告

今年で40回目を迎えるUBC海外教育研修が2月23日から3月24日の1ヶ月、バンクーバー(カナダ)で実施され、21人の学生が参加しました。

出発前に2日間の英語特別セミナーを受講し、現地で役立つ生活情報に関する表現などを学習。現地滞在中はブリティッシュコロンビア大学で週5日間の英語研修プログラムに参加しました。週末にはウィスラーでスキーなどを楽しんだり、国境を越えてアメリカのシアトルに日帰り旅行をしたりと、各自が週末の自由時間を満喫しました。

異なる文化を持つ人との生活や現地でのさまざまな出会いと体験は、学生たちを大きく成長させ、貴重な経験となったようです。



理学療法士国家試験で89% 全国平均を上回る 合格率を達成！ 臨床工学技士国家試験で90% 合格率を達成！

2月に実施された2018年度理学療法士国家試験において、医療福祉工学部理学療法学科の学生37人が受験し33人が合格。89.2%の合格率で全国平均85.8%を上回る結果となりました。

また、3月に実施された臨床工学技士国家試験では、医療福祉工学部医療福祉工学科の学生31人が受験し、28人が合格。90.3%の合格率でこちらも全国平均77.5%を大きく上回る結果となりました。

両学科ともに、国家試験を意識した段階的な学修や、分野別の対策講座、資格学習用のe-learning教材などが充実しており、毎年高い合格率を維持しています。

●理学療法士…運動療法、水治療法、日常生活動作訓練等の理学療法を駆使して、身体機能の回復を図るリハビリテーションを行うことのできる資格を有する者です。理学療法士になるには、理学療法士の養成校を卒業し、理学療法士国家試験に合格する必要があります。

●臨床工学技士…医師、看護師と連携し、病院内の人工透析室(血液浄化業務)、手術室(人工心肺装置の操作、心血管カテーテル業務)、集中治療室(呼吸治療業務など)、MEセンター(医療機器の安全管理・指導業務)で医療業務に従事します。近年の医療機器の目覚ましい進歩に伴い、医学的、工学的な知識を必要とする専門技術者として医療の重要な一翼を担う医療系国家資格です。

受賞報告 ▶▶ 学生・教員

村上教授らによる共同研究が「優秀教育実践賞」を受賞

1月23日、実践的IT教育研究会(rePiT、Research on Education of Practical Information Technologies)シンポジウムが開催され、情報通信工学部通信工学科の村上恭通教授と他大学の先生方による共同研究が「優秀教育実践賞」を受賞しました。

rePiTは実践的IT教育に関するトピックを広く議論する研究会です。5回目となる今回は、村上教授らが「形式的安全性検証ツールを用いた暗号教育の実践とそのe-Learning教材化の課題について」を発表し、優れた教育実践を報告した論文として、優秀教育実践賞を受賞。また、この研究では、宮本樹さん(工学研究科修士課程電子通信工学専攻2年生)と通信工学科卒業生の渡邊樹さんがシステム構築部分を担当しました。



兼宗研究室の学生が日本産業技術教育学会の「発明・工夫作品コンテスト」で受賞

1月31日、日本産業技術教育学会主催の「第13回技術教育創造の世界(大学生版)発明・工夫作品コンテスト」が開かれ、工学部電子機械工学科・兼宗研究室の4年生3人が奨励賞を受賞しました。

このコンテストは、教員養成系大学に在籍する学生、院生、および卒業・修了して2年以内の社会人が個人またはグループで製作した作品が対象。「発明工夫部門」「教材開発部門」「プログラム部門」「スキルアップ部門」「その他の部門」の5部門に分かれています。詳細は以下の通りです。

- ◆受賞内容◆
- ◆《教材開発部門》奨励賞
菅井良亮さん 作品名: レール上で自立するジャイロモノレール教材
- ◆《教材開発部門》奨励賞
山本大地さん 作品名: ベルトコンベア式きのこ判別機
- ◆《プログラム部門》奨励賞
山本凌雅さん 作品名: 自転車交通ルール学習アプリケーション



1月25日、「ワガヤネヤガワ・ベンチャービジネスコンテスト2018 グランプリ発表会」が開催され、岡田匡央さん(工学部環境科学科4年生)が「工業部門賞」を受賞しました。このコンテストは、寝屋川市が市内産業振興推進事業として開催している企画提案型ビジネスコンテストで、「工業(ものづくり)」「商業」「農業」「協働」の4部門で学生のビジネスプランを募集。岡田さんは最終審査で、自身のプラン「災害時に活躍できる合金-空気電池」について紹介。プレゼン後のインタビューで「昨年の大阪北部地震を体験したので、この電池の有用性を身にしみて感じました」と話していました。



「ワガヤネヤガワ・ベンチャービジネスコンテスト2018」で 「工業部門賞」を受賞

2月8日、一般財団法人学生サポートセンターが主催する「平成30年度学生ビジネスプランコンテスト」の表彰式が行われ、山下泰裕さん(金融経済学部資産運用学科4年生)と加藤昂亮さん(同学科3年生)が共同で応募したプラン「ステップフリー(段差昇降車いす)」が優秀賞を受賞しました。

16回目にあたる今年度のコンテストには39大学94作品の応募があり、その中から最優秀賞1作品、優秀賞1作品、アイデア賞8作品、努力賞9作品が選ばれました。

平成30年度 学生ボランティア団体 表彰式 学生ビジネスプランコンテスト



左から山下さん、森副学長、加藤さん

左から菅井さん、山本大地さん、山本凌雅さん

本学のキャリア教育プログラムが「第16回情報コミュニケーション学会全国大会」で研究奨励賞を受賞

2月23日・24日、情報コミュニケーション学会が主催する「第16回情報コミュニケーション学会全国大会」が開かれ、教育開発推進センターの齊尾恭子准教授が研究代表として行った発表が、研究奨励賞を受賞しました。(共同研究者:不破信勝就職部次長、伊藤義道電気電子学科准教授、中田亮生環境科学科教授、竹内和広情報工学科教授、柴垣佳明通信工学科教授、上善恒雄デジタルゲーム学科教授、新川拓也医療福祉工学科教授、田中孝憲就職部参与、森幸治副学長・機械工学科教授)

齊尾准教授は、各学科の教員や職員でつくるキャリア教育WGでの議論における検討プロセスを取りまとめ、「大学初年次キャリア教育における技術者養成に向けたスキルトレーニングのデザイン」と題して発表しました。



自由工房ヒト型ロボットプロジェクトの学生が活躍!!



2月24日、ヒト型ロボットの格闘技の全国大会「第34回ROBO-ONE」が行われ、本学自由工房ヒト型ロボットプロジェクトの関悠伍さん(工学部電気電子工学科4年生)が第3位に入賞しました。

また、3月2日に行われた2018年度「近畿学生2足ロボリーグ セカンドステージ」最終戦で、本学自由工房ヒト型ロボットプロジェクトが2部門で1位になりました。これによりリーグ内の年間順位が確定し、年間チャンピオンとなりました。「近畿学生2足ロボリーグ セカンドステージ」は、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪工業技術専門学校、大阪電気通信大学の4校が合同で競技会を開催するもので、各大学からロボット2台を選出し、大会形式で技術を交流する競技会です。自由工房から井澤真人さん(工学部電子機械工学科1年生)と吉田拓斗さん(機械工学科2年生)の2人が出場。2足ロボットの大会「ROBO-ONE」と同じ4.5m走行とバトル2種目が行われ、3kg級と1kg級、両階級共に4.5m走行とバトルで1位を獲得し、年間総合優勝に輝きました。

寝屋川市の「子育て応援プロジェクト」でロゴをデザインし受賞

2月28日、寝屋川市民生委員児童委員協議会が「安心して子育てできる」あたたかい地域・まちづくりを応援するため「ロゴデザイン総選挙」を行い、岡田悠さん(工学部電気電子工学科4年生)が最優秀賞、妻木祥太郎さん(同学科1年生)が優秀賞を受賞しました。ロゴデザイン総選挙は、「赤ちゃんは泣くものだよ!~子育て応援プロジェクト~」の活動を広めていくためのロゴマークを作成し、寝屋川市で子育てしやすい地域作り、児童虐待の未然防止につながる運動していくために開催。最優秀賞を受賞した岡田さんは「泣いている赤ちゃんを温かく見守っているイメージと、イクメンが増えているので、髪を描かないことで性別関係なく表現しました」とデザインについての思いを話してくれました。



eSports projectのメンバーが「Shadowverse University League 2019 プレリーグ」で優勝

3月2日、Shadowverse(シャドウバース)の初の大学生リーグ「Shadowverse University League 2019 プレリーグ」が開催され、本学のeSports projectのメンバーが優勝しました。

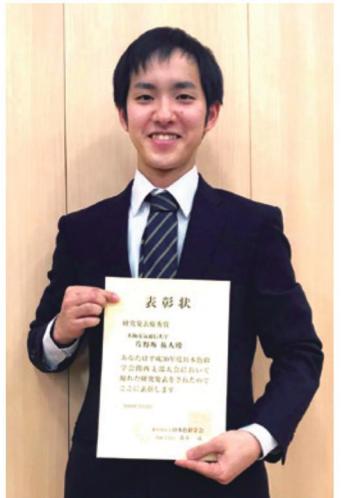
Shadowverseは、株式会社Cygamesが配信するスマートフォンやタブレット、PC向け対戦型オンラインカードゲームです。今回のプレリーグでは、同じ大学に在籍する学生5人で結成されたチームによる勝ち抜き戦が行われました。本学チームは、三浦純平さんと小山健心さん(総合情報学部情報学科1年生)、増本光希さん(同学部デジタルゲーム学科3年生)、松田文平さん(同学部ゲーム&メディア学科1年生)、村田裕輝さん(金融経済学部資産運用学科3年生)の5人チームで挑戦。見事優勝をつかみました。



工学研究科情報工学専攻の大学院生が研究発表優秀賞を受賞

3月2日、日本色彩学会が主催する平成30年度関西支部大会「オープンカラーラボと研究発表会」で、片野坂拓人さん(工学研究科修士課程情報工学専攻西研究室2年生)が「研究発表優秀賞」を受賞しました。

◆研究発表優秀賞
発表テーマ: 視覚特性に基づく景観画像の階調制御
発表者: 片野坂拓人
西省吾(情報通信工学部情報工学科准教授)



「第22回ロボットグランプリ」の大道芸ロボット競技・コンピュータ制御部門で準優勝



工学部電子機械工学科入部研究室の3年生が3月23日に開催された日本機械学会主催「第22回ロボットグランプリ」の大道芸ロボット競技・コンピュータ制御部門で準優勝しました。

学長賞 受賞者一覧

井ノ阪将大	第一種電気工事士	奥村 大樹	2次元CAD利用技術者試験2級
岩本 嶽平	第一種電気工事士	高橋 侑里	2次元CAD利用技術者試験2級
鬼木孝太朗	第一種電気工事士	吉田 昂弘	2次元CAD利用技術者試験2級
麿谷 棟海	第一種電気工事士	木下 淑太	2次元CAD利用技術者試験2級
田中 友之	第一種電気工事士	永山 洋輝	2次元CAD利用技術者試験2級
上野 隆三	第一種電気工事士	今井 康督	水質関係第一種公害防止管理者
小山 幸輝	第一種電気工事士	谷本 佳菜	水質関係第一種公害防止管理者
船戸弥央起	第一種電気工事士	植田 和稀	応用情報技術者試験
小林 侑介	第一種電気工事士	太田 謙	基本情報技術者試験
長谷 奏汰	第一種電気工事士	田中 智也	基本情報技術者試験
谷口 要央	第一種電気工事士	東川 拓夢	基本情報技術者試験
伊勢本翔平	第三種電気主任技術者	千葉 到	第一級陸上特殊無線技士
久保翔太郎	第三種電気主任技術者	吉田 雄紀	第一級陸上特殊無線技士
並川 直輝	2級電気機器組立て (シーケンス制御作業)	大岩 勇毅	第一級陸上無線技術士
濱副 孝太	2級電気機器組立て (シーケンス制御作業)	花園 要	第一級陸上無線技術士
西谷 佑太	2級電気機器組立て (シーケンス制御作業)	青園 拓海	第一級陸上無線技術士
横山 航	2次元CAD利用技術者試験2級	大西 遼也	第一級陸上無線技術士
宇田 雅治	2次元CAD利用技術者試験2級	須ヶ原 大	第一級陸上無線技術士
北野 裕喜	2次元CAD利用技術者試験2級	中西 康祐	工事担任者DD第一種
山下 幸輝	2次元CAD利用技術者試験2級	水上 嘉貴	工事担任者DD第一種
福盛 慎吾	2次元CAD利用技術者試験2級	白川 智也	知的財産管理技能検定3級
坂東菜々子	2次元CAD利用技術者試験2級	高橋 侑里	知的財産管理技能検定3級
安部 誉人	2次元CAD利用技術者試験2級	平田 智洋	知的財産管理技能検定3級
井上 海斗	2次元CAD利用技術者試験2級	武本 裕太	第一種ME技術実力検定試験
		山下 祐平	第一種ME技術実力検定試験
		多賀 愛	第一種ME技術実力検定試験
		黒崎 涼	第二種ME技術実力検定試験



入部研究室の学生はチーム「3匹の子ぶた製作部」として大道芸ロボット競技・コンピュータ制御部門に出場。リンク機構を応用して操り人形を動かし、人形淨瑠璃のように操り人形の表情が一瞬で早変わりする機構によって、新しい演出で童話「3匹の子ぶた」の人形劇を行いました。

チームは、さまざまな機械によるロボットの演技の独創性、楽しさ、芸術性、技術力などが評価され、準優勝に輝きました。

実学道場プロジェクトで資格取得者急増!

多くの学生に資格取得の有効性を呼びかける「実学道場プロジェクト※」の開始以来、資格を取得する学生の数が年々増加しています。そのうち、特に難関とされる資格を取得した学生には「学長賞」が贈られており、2018年度は51人の学生が表彰されました。その他、資格の種類や年次に応じて、167人に学部長賞、227人に学長奨励賞が贈られています。

※実学道場プロジェクト 多くの学生に資格取得の有効性を呼びかけ、資格取得などを通しての知識の定着や達成感を体験することで一層勉学意欲を高めるための支援プロジェクト。学科の教育内容により資格取得への難易度が異なるため、取得した資格の表彰対象は学生の所属学科によります。

2018年度資格取得者数

●「学長賞」51名
第一種電気工事士11名 / 第三種電気主任技術者2名 / 2級電気機器組立て(シーケンス制御作業)3名 / 2次元CAD利用技術者試験2級13名 / 水質関係第一種公害防止管理者2名 / 応用情報技術者試験1名 / 基本情報技術者試験3名 / 第一級陸上特殊無線技士2名 / 第一級陸上無線技術士5名 / 工事担任者DD第一種2名 / 知的財産管理技能検定3級3名 / 第一種ME技術実力検定試験3名 / 第二種ME技術実力検定試験1名

人事異動

新任教職員(3月1日付)



望月博光
●事務室事務長
補佐

新任教職員(4月1日付)



星野 実
●機械工学科
特任教授



矢ヶ崎善太郎
●建築学科
教授



北澤誠男
●建築学科
准教授



古崎晃司
●情報工学科
教授



桃井ちひろ
●理学療法学科
特任講師



森 善龍
●デジタルゲーム学科
特任准教授



若林徳子
●数理科学教育研究
センター准教授



伊藤公毅
●数理科学教育研究
センター准教授



木村哲士
●数理科学教育研究
センター准教授



松田真実
●数理科学教育研究
センター准教授



乾 圓花
●学務部学務課



小林史弥
●メディアコミュニケーション
センター情報サービス課

新川拓也教授が副学長就任



2019年4月1日付で、大阪電気通信大学の副学長に新川拓也教授が就任しました。新川教授は四條畷キャンパス担当副学長として、本学の管理運営に関する学長の業務を補佐とともに、本学の教育改革を推進していきます。

にいかわ・たくや 1993年大阪電気通信大学工学部応用電子工学科卒業。95年学校法人大阪電気通信大学事務職員。99年大阪電気通信大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程満期退学、99年博士(工学)の学位取得。2001年大阪電気通信大学工学部第1部医療福祉工学科講師、04年医療福祉工学部医療福祉工学科講師。06年同助教授、07年同准教授、11年同教授(現在に至る)。16年4月~医療福祉工学部長。17年4月学校法人大阪電気通信大学理事(~2018年3月まで)、19年4月同理事(現在に至る)。

異動(3月4日付)

職員

四條畷事務部四條畷学務課 横田知也

異動(4月1日付)

役職教員

副学長(四條畷キャンパス担当) 新川拓也

医療福祉工学研究科長 赤滝久美

工学部長 榎本博行

情報通信工学部長 越後富夫

総合情報学部長 渡部隆志

学務部長 柴垣佳明

学務部副部長 森 幸治

学務部教育開発推進センター長 辻 聖晃

学務部総合学生支援センター長 伊與田功

学務部スポーツ強化センター長 金田啓穎

就職部副部長 魚井宏高

入試部長 松村雅史

入試部副部長 竹内和広

メカトロニクス基礎研究所長 高岡大造

昇格教員

デジタルゲーム学科准教授 沼田哲史

人間科学教育研究センター准教授 村木有也

英語教育研究センター准教授 松田正貴

職員

法人事務局総務部次長 兼

経営企画本部経営企画室担当 渡邊堅一

法人事務局財務部長 谷 嘉久

法人事務局財務部参与 大平正敏

法人事務局記念募金推進室担当次長 兼

大学事務局固定資産管理担当 石本一平

法人事務局担当次長 兼 法人事務局高大連携室担当次長 兼

学務部教育開発推進センター教育開発推進室長 太尾智典

大学事務局次長 兼

大学事務局学事部会計課長 四元博文

大学事務局学事部長 早野秀樹

大学事務局学事部学事課長 中村文俊

大学事務局学事部学事課長補佐 池田裕喜

大学事務局学事部学事課 元永修平

大学事務局学事部会計課係長 川上和昌

大学事務局学事部安全管理室長(課長待遇) 溝口文子

大学事務局地域連携室係長 富田真里

四條畷事務部次長 兼

四條畷事務部学事・会計課長 力久竜治

高等学校 事務室事務長 望月博光

異動(5月1日付)

職員

学務部教育開発推進センター教育開発推進室長(次長待遇) 兼 法人事務局高大連携室担当 太尾智典



寝屋川キャンパス 大規模リニューアル工事進捗レポート

寝屋川キャンパスの大規模リニューアル工事が昨秋から本格的にスタートし、3月29日に「構造実験棟」が竣工しました。着々と工事が進み、新棟の西側半分が2020年春、東側半分が2022年春に竣工予定です。

写真の「松杭」は、1960年7月に大学創設の第1号の校舎として建築されたB号館(当時は第1号校舎)の基礎として支えて

きたものです。約58年間地中に約1,200本松杭が埋まっていますが、寝屋川キャンパスリニューアル工事にともない、地中から引き抜きました。創設の継承として、今後「建築学科」の学生が松杭を使用し作品を製作予定です。新たな時代を切り拓く人材を輩出するキャンパス完成に向けて環境を整備していきます。

Event Notice イベント予告

学内・学外で開催される予定の
イベント情報をお届けします。

オープンキャンパス開催!!

下記の日程で
開催します

会 場

寝屋川キャンパス・四條畷キャンパス

開催日

6月16日(日) 13:00~16:30(12:30開場)

7月21日(日) 12:30~16:30(12:00開場)

8月24日(土) 12:30~16:30(12:00開場)

6月

授業体験型オープンキャンパス

1つの学科をじっくり体験し、深く理解できる体験型プログラムです。

プログラム一例

- モノづくりの醍醐味！電子工作に挑戦してみよう！
- 建物はどのように壊れるのか～建築構造を体験する～
- 臨床工学技士や総合医療エンジニアをめざす！
- これからのゲーム業界～VR/ARの出現で何が変わるのか？



7月
8月

フリープログラム型オープンキャンパス

約100種のプログラムから自由に組み合わせて、大学の多様な学びを幅広く知ることができます。

プログラム一例

- レゴ・ロボット®で遊ぼう！
- WEBアプリを作ろう！
- ストレッチと筋トレを体験してみよう！
- esports LIVE！在学生が送る生中継



※プログラムは予定であり変更の可能性があります

寄附者芳名録

寄附金募集に対し、多数の方々よりお申込みをいただき、心より御礼申し上げます。

ご寄附をお申込みいただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名一覧

- ・ご芳名は、2018年12月1日から2019年3月31日までにご寄附のお申込をいただいた方(個人)を掲載いたしました。
- ・お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。

東 尚子	木原 満	中村 文俊	松浦 秀治
石本 一平	木村 安寿	新川 拓也	宮崎 智彦
茨木 陽光	倉地 宏幸	野村 恭三	夕永 智子
植田 一正	小池 達男	早野 秀樹	吉川 茂
江口 誠	榎原 和弘	平田 貴之	吉川 隆章
海老原 聰	佐近 昌俊	福原 雄	吉田 正樹
王 少鋒	田中 孝徳	伏本 和人	渡邊 俊彦
上川 直紀	谷 嘉久	藤田 宏道	(五十音順、敬称略)
川口 雅之	寺西 正光	不破 信勝	
観野福太郎	中野 正三	堀井 大輔	

寄附金に関する お問い合わせ先

法人事務局 記念募金推進室
TEL : 072-824-1131(代) FAX : 072-824-1141
E-mail : bokin@osakac.ac.jp

合計

¥15,358,907

(2013年2月から
2019年3月31日まで)